



社団法人 日本理学療法士協会

# 富山県士会ニュース

平成19年度 No. 1 (通算 105号)

総会員数 320名 (休会40名)

全105施設

2007. 6. 15 発行人 社団法人 日本理学療法士協会 富山県士会  
〒936-0023 滑川市柳原149-9 富山医療福祉専門学校 理学療法学科内 ☎(076) 476-1716  
代表: 塚本 彰 編集: 中谷 郁 印刷: 志貴野苑  
士会URL:<http://toyamapt.umin.ne.jp/> 事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp

## CONTENTS



巻頭言 岐路に立つ理学療法	2
平成19・20年 富山県理学療法士会役員紹介	3
第12回 富山県理学療法学会	4
理事会報告	4~6
士会員の独り言	6
事務局インフォメーション・編集後記	7
平成19年度会員異動状況	8
平成19年度賛助会員名簿	9
平成19年度求人広告	10~12



巻頭言

## 岐路に立つ理学療法

富山県理学療法士会 会長 塚本 彰

平成17年に富山県理学療法士会会長に就任し、平成19年3月の定期総会で2期目を迎えることになりました。この2年間は理事をはじめとして、県士会員の皆様にささえられてきました。

平成19年、会員数は約350名で県内医療施設・介護保険施設・教育・行政などで活躍しています。本土会は県民の保健・医療・福祉に寄与し、理学療法の啓発や質の向上を目的に活動しています。本土会では以下の事業を行なっています。

### 【リハビリテーション・理学療法啓発普及事業】

- ※理学療法週間事業、健康と長寿の祭典や富山市ふれあい広場での理学療法相談事業
- ※介護老人福祉施設を対象としたリハビリテーション研修会の開催

### 【理学療法の質の向上に関する事業】

- ※富山県理学療法学会大会の開催
- ※会員に対する教育研修計画に基づいた研修会の開催や研究会活動
- ※新人理学療法士研修、富山県理学療法学会誌「みんなの理学療法」の発行

### 【広報関連事業】

- ※富山県理学療法士会ニュースの発行やホームページによる情報の発信
- ※速報性重視の機関紙「あんた知っとっけ」の発行
- ※県民向け広報誌「きときとPT」の発行
- ※医療・介護保険制度情報の発信相談

### 【職場管理運営や小規模地区単位での活動】

- ※管理者会議（各職場の代表者会議）
- ※地区連絡会の設置

本年度の重要活動方針として地区連絡会を新設し、地区代表者の決定や地区連携を図ることが上げられています。その目的は医療・福祉・保健制度改革に対応した基盤を作ることや小規模地区単位の活動により、顔が見えて、気軽に相談し合える環境を作ることです。

私達、理学療法士を取り巻く環境は平成18年に疾患別診療体系がいち早く導入されましたが、今後の改定では医療介護が在宅重視の制度改定が目の前に迫っています。

平成19年度事業がより活発であるためには、対話により会員相互の交流と事業計画を推進することが必要です。

今後とも、多くの方々の意見を傾聴し、県民からの社会要請に応えられるよう、会員への理学療法の質の向上と公益活動を推進していきます。

今後とも、ご支援、ご協力のほどよろしく申し上げます。

## 平成19・20年 富山県理学療法士会役員紹介

会 長：塚本 彰  
副会長：田村 茂      滝田正樹  
代議員：滝田正樹      寺田一郎  
監 事：村田登志夫      清田正昭  
相談役：西川 浩      福江 明      荻島久裕

事務局 長 城戸智之      担当理事 島倉 聡      田村 茂  
事務部長：宮原謙一郎  
財務部長：徳田 裕  
組織部長：島倉 聡(兼務)  
福利厚生部長：竹中 誠  
情報管理部長：中谷 郁

学 術 局 長 川合 宏  
専門領域研究部長：金森修治  
学術資料部長：杉谷清美

教 育 局 長 滝田正樹      担当理事 寺田一郎  
研修管理部長：寺田一郎  
卒後教育部長：酒井吉仁  
卒前教育部長：中屋さおり

職 能 局 長 森山 明      担当理事 増山 智  
業務推進部長：森田忠秀  
医療保険部長：城前美奈  
介護保険部長：飯島忠雄

公益事業局長 堀尾欣三  
福祉事業部長：広川晃彦  
保健事業部長：竹田伊希子  
広報部長：菱田 実  
調査部長：柴田浩之

選挙管理委員会：廣田和寛      田形 学      菊田正寛      \*廣田 氏  
表彰審査委員会：島倉 聡      城戸智之      徳田 裕

### 関 連 団 体

リハビリテーション研究懇話会：川合 宏      杉谷清美  
公衆衛生学会：理事 塚本 彰  
介護予防研究会：世話人 塚本 彰      委員 堀尾欣三  
北陸呼吸ケア研究会：世話人 滝田正樹      杉谷清美      嶋先 晃

# 第12回 富山県理学療法学会大会

富山県高志リハビリテーション病院 小畑 祥治

去る平成19年3月11日（日）、富山県総合福祉会館サンシップとやまにおいて「理学療法の専門性」をテーマに第12回富山県理学療法学会大会が開催されました。当日は雨風の強い荒れた天候の中、会員120名、学生・非会員12名の参加がありました。

特別講演では山梨リハビリテーション病院の理学療法士、伊藤克浩氏を講師にお迎えして「理学療法の専門性」—脳卒中後遺症者に対するチームアプローチの中での理学療法の専門性を中心に—の演題で講演していただきました。

一般演題発表では16演題の発表があり、士会員の日頃の研究成果が報告されました。準備・実行委員を務めていただいた方々、座長を引き受けてくださった先生方にお礼を申し上げます。



## 平成18年度 第10回 理事会報告

日時：平成19年3月1日（木）19:00～  
場所：富山市民病院リハビリテーション室  
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田  
堀尾 川合 森山 宮原（書記）

### 〈報告事項〉

- 第4回富山県医療推進協議会委員会報告（副会長 滝田）：平成19年2月22日に開催された。医療制度改革法案の1. 保険免責制 2. 混合診療 3. 後期高齢者負担増について反対の立場をとる。
- 富山市脳卒中総合対策検討委員会報告（副会長 滝田）：平成19年2月22日に開催された。今後富山市では、2006年4月の診療

報酬改訂後に始まった大腿骨頸部骨折術後と同様、急性期病院から地域の医療福祉施設に至るまでの一連した脳卒中後のクリニカルパスを検討し作成していく。

### 〈検討事項〉

1. リハビリ診療報酬改定を考える会の集いについて（副会長 田村）：2006年4月の診療報酬改定にて始まったリハビリ日数制限の撤廃を求める活動を、多田富雄（東大名誉教授）代表のもと活動している。平成19年3月10日に東京都にて「これからのリハビリを考える市民の集い」を開催予定。当士会では集いの主旨に賛同の立場をとっていくことで一致した。
2. 役員選挙について：選挙管理委員会より計8名の立候補を受付けたとの報告。理

事会より、理事・監事に各2名を推薦する予定。

3. 総会について：議案に平成19年度事業計画案・収支予算案、代議員提出議題、平成19年・20年役員選挙、その他として地区連絡会の発足について検討がなされた。
4. 第1回研修管理部会報告（研修管理部）：新人教育プログラムの参加費、また必要な研修会の内容を検討していきたいとの議題が提出され検討された。また、他職種からのニーズが高いと思われる循環器・呼吸ケア研究会企画の研修会については、今後当士会員以外での参加を視野に入れて行くことが話し合われた。
5. 地区連絡会：7ブロックにつき、世話人として理事1名、その他1名の代表者を選出する方向で今後検討。
6. その他：平成19年4月14日（土）富山医療福祉専門学校にて、13:00より会計監査、14:00より拡大役員会を開催予定。

## 平成18年度 第11回 理事会報告

日時：平成19年3月29日（木）19:00～

場所：富山市民病院リハビリテーション室

出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田

川合 森山 増山 城戸 宮原(書記)

### 〈報告事項〉

- 事務局報告：PT協会より、会員カード発行1年後に賠償責任補償の保険が自動キャンセルされ、継続希望者についてはオプションにて加入手続きをとる案内があった。富山新聞社より、「人体不思議展」への後援依頼があり、承諾することが決定。また、能登地区地震における他県士会の情報交換、公文書発行、会員異動について報告された。
- 第6回呼吸理学療法セミナー報告：平成19年2月24日（土）に富山市民病院にて開催。

慢性呼吸不全をテーマに進められ、県内PTが17名参加。

- 小研修会報告（理学療法基礎系研究会）：平成19年2月28日（水）に富山医療福祉専門学校にて開催された。関節可動域運動の基礎と臨床をテーマに進められ、県内PTが27名参加。
- 第5回研修会（スポーツ系研究会）：平成19年3月18日（日）に富山医療福祉専門学校にて開催された。スポーツ理学療法の展開をテーマに進められ、県内PT36名、学生4名が参加。
- その他：教育局より新たな生涯学習プログラムの検討を目的に、アンケート調査を実施する旨が報告された。

### 〈検討事項〉

1. 平成19・20年度役員構成について：各部長、地区連絡委員の各代表者の検討がなされた。
2. 専門領域研究部の運用について：一部会員から入会方法や時期についての問い合わせがあり、今後明確な案内など検討していく。
3. 情報管理部と広報部の運用について：平成19年3月11日の総会にて検討課題として挙げられた、「士会発行の広報誌の統合及びHPの活用」について、士会内外の情報・広報機能の強化を目的に、情報管理部と広報部の統合案が挙げられた。関連団体や他県士会などを参考に今後検討していく。
4. 地区連絡会の運用について：平成19年度第1回の総会にて事業の案内を行なう。代表者選出については、その総会終了後に、各地区別の会議を設けて一任する。
5. 平成20年度の当士会35周年について：記念講演及び式典を、委員会を設けて企画。
6. その他：先日、富山市より理学療法士の需要についての問い合わせがあった。今

後、富山県における理学療法士のニーズを把握することを目的に、アンケート調査を行なう予定。

## 平成19年度 第1回 理事会(拡大役員会)報告

日時：平成19年4月14日(土) 14:00～

場所：富山医療福祉専門学校

出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田  
川合 森山 城戸 村田 清田  
徳田 竹中 中谷 金森 酒井  
森田 城前 広川 蟹谷 菱田  
柴田 宮原(書記)

### 〈報告事項〉

- 事務局報告：PT協会・他県士会・関連団体からの事務局宛郵送物、公文書発行、会員異動について報告された。PT協会からは、理学療法士賠償責任補償制度について。
- 第12回富山県理学療法学術大会事業報告：平成19年3月11日(日)に、サンシップとやまにて「理学療法の専門性」をテーマに開催。特別講演、一般演題発表(16題)が行なわれ、142名(会員130名、会員外2名、学生10名)が参加した。
- 地区連絡会活動について：平成19年度事業の重要活動方針として、会長塚本より報告。新川、中部、富山北部、富山中央、富山南部、高岡、砺波地区に分けて展開する。
- その他

### 〈検討事項〉

1. 平成19・20年度役員構成：代議員に寺田(富山県厚生連高岡病院)、職能局担当理事に増山(富山県立中央病院)、情報管理部長に中谷(西能病院)、医療保険部長に城前(かみいち総合病院)、保健事業部長に竹田(済生会高岡病院)、その他前年度に引き続き行なうことで承認された。

2. 平成18年度事業報告：各部局より報告された。概ね例年通りとなったが、学術誌「みんなの理学療法」vol.18は例年に比べ他職種の原稿が多いものとなった他、管理者会議では若い代表者も比較的多く、情報交換の場として有意義なものとなった。またPT協会教育部共催で開催された臨床実習教育研修会、福利厚生部企画の納涼祭については、出席者が少なく今後の対応が望まれた。今後アイデアを出して検討したい。
3. 平成18年度収支決算報告：事務局長より収入、支出、特別会計が報告された。繰越金が減少傾向で、今後の予算への対応が望まれた。
4. 会計監査報告：事業・決算については、概ね良好。活動費と会議費の明記の仕方など指導があった。
5. 部員構成：士会所属希望アンケート結果が報告された。各部長にて、会員の希望に沿って調整し、部員決定後に事務局へ報告。

## 士会員の独り言

### 当たり前のことが 出来ることの大切さ

富山県立中央病院 土肥 由佳

理学療法士になり、はや6年目になりました。最近、特別なことではなく、「当たり前のことが出来る」ことの大切さを感じています。当たり前のことを書きたいと思います。

家族に感謝する。高校3年生のときに就職するように言われていましたが、病院で働くことに憧れていたため、親に無理を言って進学させてもらいました。無事理学療法士になることができ、感謝しています。また、恥ずかしながら未だにお弁当を作ってもらっています。お弁当一つで愛情を感じますね。た

ぶん愛情。

コミュニケーションする。今までは、忙しい医師や看護師のスタッフの方々とのコミュニケーションを取ることが大変でした。現在は話すタイミングや要領がつかめて、コミュニケーションが取りやすくなり、仕事が以前よりしやすくなりました。時々、冷たくされたり、無視されることがありますが、気にしてないですね。何かしら事情があるのでしょう。話しやすい人間関係をつくるのが大事で、知ったかぶりより、何でも聞くことが大事ですね。

自分を成長させる。理学療法士になったこと自体も自分を変えようとしたことであつたし、今の職場に変わったことも更に自分を変えようとしたことでした。最近読んだ本の中で衝撃だったことは、「友達はいらない」という言葉でした。自分の求める新しい世界に

進むためには、一度友達を捨て孤独になることで、それから同じ志しの新しい友達と出会える。ということでした。難しいことですね。でも、広い視野で物事を考えられるようになりたいです。

体を大事にする。皆さん、理学療法士をされて体を壊していませんか？私は、だいたい金曜日になると腰痛が出てきます。そして、週末にテニスをして、腰痛が治り、月曜日に下肢の筋肉痛が出てきます。ハードな職場では体が基本です。これからも理学療法士を続けるために何かしら運動を続けていきたいですね。

理学療法士を続けるために必要な当たり前のこと。私の今後の重要な課題は、知識と技術を身に付けることです。

最後に、原稿を書く機会を与えていただき、ありがとうございました。自分のことを改めて考えることができましたよ。

## 事務局インフォメーション

### 職能局の相談窓口

職能に対して、職能局では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

電話番号(0765)24 - 3999 FAX(0765)24 - 3684

魚津市健康センター 森山まで

E-mail : akira-moriyama@city.uozu.toyama.jp

その他、理学療法に対しての疑問点は、事務局で相談を受け付けています。事務局までメール等でお願ひします。



### 編集後記

雨降りの日が多くなってきました。アパート暮らしの私にとっては、一番いやな季節です。部屋の中ははじめじめするし、食べ物はすぐに悪くなるし。何より困るのが洗濯物。雨が降ると外に干すことはできないし、部屋干ししても生乾きになっちゃうんですよ。たまに晴れても仕事の日だったりして、「今すぐ帰って洗濯機を回したい！」という衝動を必死に抑えています。でもこんな季節でも楽しみがひとつ…紫陽花の花です。母親が好きなので家にたくさんあるのですが、私の方も影響されて気がついたら大好きになっていました。青、紫、ピンクのグラデーションがとてもきれいで、雨にぬれるとさらに引き立ちます。きれいに咲いた紫陽花を見ると「梅雨もいいもんだな」としみじみ思います。それでもやっぱり洗濯物がたまるのは我慢できない！ということで、晴れた日が来ないかと待ち遠しい日々をすごす今日この頃です。(K)